

令和6年度(2024年度)
第77回岩手芸術祭記録集



第77回岩手芸術祭実行委員会

R7.3.31

< 目 次 >

1	総合フェスティバル	1
2	美術展	2
3	巡回美術展	2
4	小・中学校美術展	3
5	巡回小・中学校美術展	3
6	舞台等部門／出演者公募	3・4
7	県民文芸作品集	5
8	文芸祭	5
9	移動公演	6
10	テーマ募集	6
11	関連事業『アートフェスタいわて2024 -岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展＋岩手県美術選奨受賞者作品展-』	6
12	三賞受賞者一覧 (美術展、小・中学校美術展、ピアノ演奏会、県民文芸作品集、文芸祭)	7～11
13	審査員・選者等一覧(美術部門、舞台等部門、文芸部門)	12～14
14	実行委員会委員一覧	15・16
15	市町村別応募作品数一覧(美術、県民文芸作品集)	17・18
16	収支予算書(最終予算)	19
17	芸術祭賞受賞作品(美術、小・中学校美術)	20～23
18	印刷物デザイン (総合ポスター、美術展ポスター)	24
資料		
1	声楽部門演奏会出演者公募要項	
2	美術展公募要項	
3	県民文芸作品集第55集公募要項	
4	文芸祭開催要項	
5	ピアノ演奏会出演者公募要項	
6	小・中学校美術展作品募集要項	

1 総合フェスティバル(芸術体験フェスタ)

(1) 【盛岡開催】

1 開催日	令和6年10月5日(土)
2 会場	
3 鑑賞者数	2,414 人 (大ホール鑑賞者1,500人、映像配信914人)
4 内容等	テーマ/「継承・創造・平和一祝って、いわて」 ～もう一度観たい あの舞台～ <第1部> ○合唱(県合唱連盟)○金山太鼓&モダンダンス(佐比内金山太鼓保存会・県洋舞協会)○津軽三味線(津軽三味線黒澤会)○創作詩&弦楽カルテット&ダンス&現代美術(県詩人クラブ・県弦楽研究会・ダンスパフォーマー・県現代美術部門)○日本舞踊(県邦舞協会) <第2部> ○式典「感謝のセレモニー」(功労者表彰参照) <第3部> ○書道パフォーマンス&ジャズピアノ(県立盛岡商業高校書道部・鈴木牧子)○サクソフォーン演奏(大村光介)○鬼剣舞(岩崎鬼剣舞保存会)○虎舞(陸中弁天虎舞)○バトントワリング(Zealバトントワラーズ)○バレエ[映像出演](太田倫功)○合唱(県合唱連盟)
5 功労者表彰	美術部門…… 福士るみ子(日本画)・阿部優(洋画) 舞台等部门… 福士幸雄(邦楽)・佐藤文子(合唱)・菊池昭子(弦楽) 金野海山(三曲)・水木楓(日舞)・七戸実乗(民謡) 嵯峨勘紫翁(新舞踊) 文芸部門…… 山火律子(俳句)
6 その他	(関連事業)芸術体験イベント 肴町アーケード会場:9月28日(土)~29日(日) トーサイクラシックホール岩手:10月5日(土)~6日(日)

(2) 【地域開催】芸術体験フェスタ in 釜石・大槌

地域における鑑賞機会の提供や地域の文化催事と連携した事業として、舞台公演、芸術体験イベント、巡回美術展、小中学校巡回美術展及び東北・北海道アールブリュット作品展を開催した。

1 開催日	令和7年1月17日(金)~19日(日)
2 会場	釜石市民ホール TETTO
3 鑑賞者数	1,820 人 (体験イベント1,020人、舞台公演800人)/＊美術展563人
4 内容等	○舞台公演:7年1月18日(土) ○芸術体験イベント:7年1月19日(日) ○巡回美術展、小中学校巡回美術展:7年1月17日(金)~19日(日) ○東北・北海道アールブリュット作品展:7年1月17日(金)~19日(日)

2 美術展

岩手県内在住者及び県出身者等の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

(1) 作品搬入・受付・審査

日 程		作品審査	点数	
作品搬入・受付	9月7日(土)	トーサイクラシックホール岩手	応募点数	606点
作品審査	9月8日(日)		入賞・入選作品数	580点

(2) 美術展会期・会場

会 期		展示種目	会 場	鑑賞者数	展示点数
第1期	10月4日(金)～7日(月)	写 真 デ ザ イン 現 代 美 術	トーサイクラシックホール岩手 展示室	2,709人	計 644点
第2期	10月12日(土)～15日(火)	洋 画 彫 刻			
第3期	10月17日(木)～20日(日)	工 芸 書 道			
第4期	10月24日(木)～27日(日)	日 本 画 版 画 水 墨 画			

(3) 表彰式

11月23日(土)トーサイクラシックホール岩手にて、三賞及び部門賞受賞者の表彰式を行った。

3 巡回美術展

美術展の上位入賞作品78点を県内3市で巡回展示した。(計10日間・3会場)

会期	会場	出展作品数			
11月13日(水)～17日(日)	奥州市文化会館	日 本 画	7点	洋 画	8点
11月23日(土)～24日(日)	久慈市文化会館	版 画	7点	彫 刻	8点
令和7年1月17日(金)～19日(日)	釜石市民ホール	工 芸	8点	書 道	8点
		写 真	8点	デ ザ イン	8点
		現代美術	8点	水 墨 画	8点
		鑑賞者数 1,150人			

4 小・中学校美術展

県内小学生の書写・絵画作品及び中学生の書道・美術作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

(1) 応募状況及び入賞者等

	小学校絵画	小学校書写	中学校美術	中学校書写	合 計
応 募 点 数	2,262点	2,424点	471点	1,024点	6,181点
応 募 学 校 数	39校	66校	15校	38校	158校
入 賞 者 数	42点	39点	8点	10点	99点
入 選 者 数	497人	496人	111人	160人	1,264人
入 選 の う ち 巡 回 展 出 品 数	36点	96点	15点	56点	203点

(2) 小・中学校美術展会期・会場

会 期	会 場	鑑賞者数	展示点数
11月29日(金)～12月1日(日)	岩手県民会館展示室	2,498人	1,363点

5 巡回小・中学校美術展

小・中学校美術展におけるすべての入賞作品と入選作品の中から巡回用に選定した作品を、県内各地で巡回展示した。

会 期	会 場	入場者	展示点数		
令和7年1月17日(金)～19日(日)	釜石市民ホールTETTO	1,866人	小学校絵画	78点	
令和7年2月8日(土)～9日(日)	九戸村公民館HOZホール		小学校書写	135点	
令和7年2月22日(土)～24日(月)	久慈市文化会館アンパルホール		中学校美術	23点	
			中学校書写	66点	
			計	302点	

6 舞台等部門

事業名	開催日	実施団体	会 場	鑑賞者数
演 劇	盛岡地区 10月11日(金)～13日(日)	架空の劇団 (岩手県演劇協会)	盛岡劇場タウンホール	186人
	県南地区 —			—
	沿岸地区 令和7年2月23日(日)	劇団もしよこむ (岩手県演劇協会)	釜石市民ホールTETTO	109人
	県北地区 12月22日(日)	二戸演劇協会The雲人 (岩手県演劇協会)	二戸市民文化会館 大ホール	150人
	市町村民劇場 9月28日(土)～29日(日)	カシオペア市民劇場	二戸市民文化会館	400人
	映像フェスティバル 令和7年2月1日(土)	映像フェスティバル	もりおか町家物語館 浜藤ホール	93人

事業名	開催日	実施団体	会場	鑑賞者数
謡と仕舞の会	11月4日(月・祝)	岩手県能楽連合会	トーサイクラシックホール岩手中ホール	110人
邦楽のつどい	11月17日(日)	岩手邦楽協会	トーサイクラシックホール岩手中ホール	290人
茶会	10月6日(日)	岩手県茶道協会	盛岡市中央公民館	701人
華道展	9月27日(金)～30日(月)	岩手華道協会	トーサイクラシックホール岩手展示室	1,116人
吟詠剣詩舞道祭	10月13日(日)	岩手県吟詠剣詩舞道総連盟	トーサイクラシックホール岩手大ホール	450人
合唱祭	12月8日(日)	岩手県合唱連盟	トーサイクラシックホール岩手大ホール	442人
声楽部門演奏会	11月9日(土)	岩手声楽研究会	トーサイクラシックホール岩手中ホール	224人
ソロと室内楽の調べ	10月13日(日)	岩手県弦楽研究会	トーサイクラシックホール岩手中ホール	160人
三曲演奏会	10月20日(日)	岩手三曲協会	トーサイクラシックホール岩手大ホール	364人
吹奏楽演奏会	11月10日(日)	岩手県吹奏楽連盟	盛岡市民文化ホール大ホール	562人
ピアノ演奏会	10月27日(日)	岩手県ピアノ音楽協会	トーサイクラシックホール岩手中ホール	200人
ギター音楽のタベ	11月16日(土)	岩手県ギター協会	トーサイクラシックホール岩手中ホール	182人
管弦楽フェスティバル	11月10日(日)	岩手県管弦楽連盟	宮古市民文化会館	120人
日本舞踊公演	公演休止			—
STUDIO DANCE ONE 35周年記念公演	11月3日(日)	岩手県洋舞協会	トーサイクラシックホール岩手大ホール	1,070人
岩手民謡まつり	11月10日(日)	岩手県民謡協会	トーサイクラシックホール岩手大ホール	700人
新舞踊発表会	10月27日(日)	岩手県新舞踊協会	城山公園体育館	480人
計				8,109人

【出演者公募】

- (1) 声楽演奏会 6名
(2) ピアノ演奏会 出演者16名
芸術祭賞 佐藤 由梨(矢巾町)

7 県民文芸作品集

岩手県内在住者及び県出身者等から、小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳の9種目の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を決定した。

入賞作品及び入選作品の一部を掲載した県民文芸作品集第55集を刊行した。

(1) 応募作品・受賞点数及び掲載作品数

応募作品数	掲載点数	受賞点数	刊行日
342点	103点	芸術祭賞 7点 優秀賞 10点 奨励賞 17点	12月13日(金)

(2) 表彰式

11月23日(土)トーサイクラシックホール岩手において三賞受賞者の表彰式を行った。

8 文芸祭

部 門	開催日／会場	内 容	参加者数
小 説	11 月 4 日 (月 ・ 祝)	小説大会 県民文芸作品集応募作品の講評	9人
	トーサイクラシックホール 岩 手 会 議 室		
戯 曲	12 月 21 日 (土)	創りあう演劇WS(ワークショップ)	9人
	盛岡劇場タウンホール		
文芸評論	10 月 14 日 (月 ・ 祝)	小講演と研究発表 望月善次編著『宮澤賢治の妹トシの100年の贈物～甦った「自省録(宮澤トシ)」の新しい魅力』(桜出版2024発行予定)をめぐって 講師●望月善次 「文芸評論のおける方法意識」 講師●塩谷昌弘 「君たちはどう生きるか」と宮沢賢治 講師●牛崎敏哉	13人
	トーサイクラシックホール 岩 手 会 議 室		
随 筆	11 月 2 日 (土)	随筆大会 県民文芸作品集応募作品の講評	15人
	トーサイクラシックホール 岩 手 会 議 室		
児童文学	10 月 27 日 (日)	児童文学大会 ①県民文芸作品集応募作品の選評と合評 ②講演会と意見交換「物語を書くということ」	19人
	やはぱーく大研修室		
詩	10 月 19 日 (土)	詩の大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか	16人
	北上市生涯学習センター		
短 歌	10 月 12 日 (土)	短歌大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞ほか	107人
	盛岡市勤労福祉会館		
俳 句	10 月 19 日 (土)	俳句大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、各選者賞	65人
	盛岡市勤労福祉会館		
川 柳	10 月 6 日 (日)	川柳大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞ほか	85人
	湯 守 ホ テ ル 大 観		
計			338人

9 移動公演

開催地	種 目	開 催 日	出演団体	会 場	鑑賞者数
一戸町	新舞踊	10月19日(土)	岩手県新舞踊協会	一戸町コミュニティセンター	84人
釜石市	洋舞	令和7年1月18日(土)	岩手県洋舞協会	釜石市民ホールTETTO	800人
計					884人

10 テーマ募集

応募期間	令和6年 3月～5月		
応募総数	320点	応募者数	180人
選定方法	選定委員6人による選定委員会を6月20日(木)に開催し、優秀作1点と佳作4点を選んだ。		
選定委員	柴田和子(実行委員会会長)・河東眞澄(親実行委員)・野田杏苑(美術)・千葉浩子(舞台等)・寺崎巖(舞台等)・高村明彦(文芸)		
表 彰	10月5日(土)の開幕式典において優秀作作者を表彰		

【優秀作】岩手芸術祭テーマ

「躍動 感動 芸術の花 いわての大地に咲き誇れ」熊谷 幸平(一関市)

【佳作】

「希望あふれる 創造の開花 未来につなげ 岩手の芸術」佐藤 千寿々(盛岡市)

「世界に翔び立て!岩手の芸術!」吉水 颯麻(宮古市)

「大きく育て 岩手に萌えたつ 芸術の樹よ」及川 聡美(一関市)

「切り拓け その手で 芸術の未来を」佐藤 楓太(久慈市)

11 関連事業『アートフェスタいわて2024

『一岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展＋岩手県美術選奨受賞者作品展』

(岩手県立美術館・岩手芸術祭実行委員会共催事業)

岩手芸術祭美術展の三賞及び美術展各部門から推薦された作家の作品99点と岩手県美術選奨受賞作家の作品をあわせて公開する企画展を実施。

会 期	令和7年3月8日(土)～23日(日)	出品点数			
会 場	岩手県立美術館	日 本 画	7点	洋 画	17点
鑑 賞 者 数	2,300人	版 画	6点	彫 刻	7点
ギャラリー ト ー ク	3月8日(土) 工芸・彫刻・日本画	工 芸	9点	書 道	17点
	3月9日(日) 版画・洋画	写 真	12点	デザイン	7点
	3月15日(土) 書道・水墨画	現代美術	6点	水 墨 画	11点
	3月16日(日) 現代美術・写真・デザイン	計			99点

12 第77回岩手芸術祭受賞者一覧

【美術展】

種目	賞 名	作 品 名	氏 名	居住地
日本画	芸 術 祭 賞	太古の響 Ⅲ	村 上 和 広	一関市
	優 秀 賞	檜扇	藤 原 妙 子	矢巾町
	奨 励 賞	翔天	高 橋 と も 子	岩手町
	奨 励 賞	ある冬の日	小 田 島 春 華	北上市
洋画	芸 術 祭 賞	Landscape	泉 山 教 道	矢巾町
	優 秀 賞	時の流れ	前 川 ゆ み 子	宮古市
	奨 励 賞	春まだ遠いドジョウ沼	菊 池 洋	奥州市
	奨 励 賞	老いのあがき	佐 藤 榮 一	二戸市
版画	芸 術 祭 賞	門番	古 原 汐 理	宮古市
	優 秀 賞	滅びない in the zone (九十三)	浅 倉 伸	盛岡市
	奨 励 賞	十八時、雨の帰り道で	黒 田 萌	宮古市
	奨 励 賞	混み合う庭	渡 辺 万 里	盛岡市
彫刻	芸 術 祭 賞	呼吸	工 藤 祐 奈	矢巾町
	優 秀 賞	wonderment	八 重 檉 篤	雫石町
	奨 励 賞	友垣	日 影 館 優 愛	盛岡市
	奨 励 賞	自刻像 - 吽形	門 脇 七 海	盛岡市
工芸	芸 術 祭 賞	孔雀	森 島 久 枝	盛岡市
	優 秀 賞	軌跡	那 須 川 重 廣	奥州市
	奨 励 賞	うつろひの銀河	青 柳 ひ で 子	一関市
	奨 励 賞	竜神岬の祭り	昆 野 明 栄	遠野市
書道	芸 術 祭 賞	趙執信詩	兼 平 岱 夔	盛岡市
	優 秀 賞	杜審言詩	清 水 嶺 鵬	北上市
	奨 励 賞	新古今和歌集より	大 畑 麻 千	盛岡市
	奨 励 賞	近作三種	千 葉 寿 幸	一関市
写真	芸 術 祭 賞	忘れえぬ友よ	遠 藤 顕 一	釜石市
	優 秀 賞	Side face	室 岡 正 美	矢巾町
	奨 励 賞	テールランプと磁気嵐	杉 立 賢	盛岡市
	奨 励 賞	終 焉(しゅうえん)	竹 花 信 一	盛岡市
デザイン	芸 術 祭 賞	生命散華	竹 内 蒼	盛岡市
	優 秀 賞	もりおか歴史文化館 観光ポスター	佐々木 海太郎	盛岡市
	奨 励 賞	I can't Remember	Emy Elenfer (エミ・エレンファー)	奥州市
	奨 励 賞	泣いた赤鬼	小 澤 夢 也	盛岡市
現代美術	芸 術 祭 賞	From the Mosaic Side to You	めだまのわかこ	花巻市
	優 秀 賞	コンプレックス人形ちゃん	阿 部 小 雪	花巻市
	奨 励 賞	winter journal in Morioka	清 武 佳 世	盛岡市
	奨 励 賞	'つ'	菊 池 和 弘	矢巾町
水墨画	芸 術 祭 賞	湯治場	門 間 國 雄	一関市
	優 秀 賞	波浪	加 藤 真 智 子	盛岡市
	奨 励 賞	山里	佐 藤 哲	盛岡市
	奨 励 賞	仙境	菅 原 實	花巻市

【小・中学校美術展】

Ⅰ 小学校

	小学校絵画部門							小学校書写部門												
芸 術 祭 賞	小	姓	堂	幸	篠	木	小	2	高	橋	ほ	な	み	桜	城	小	2			
	須	川	琴	禾	八	幡	小	4	安	ヶ	平	佳	代	北	松	園	小	4		
	城	内	心	穂	花	輪	小	6	柳	谷	歩	希	鶴	飼	小	6				
優 秀 賞	鈴	木	陽	茉	理	仙	北	小	1	長	倉	結	衣	桜	城	小	1			
	星		川		蘭	仙	北	小	1	佐	藤	音	羽	向	中	野	小	1		
	神	原	早	咲	盛	岡・土	淵	小	1	佐	々	木	心	桜	向	中	野	小	1	
	林		宇	来	々	盛	岡・中	野	小	2	安	藤	陽	奈	桜	城	小	2		
	新	井	志	歩	桜	城	小	2	及	川	一	華	盛	岡・中	野	小	2			
	北	條	楷	人	上	田	小	2	木	幡	理	絃	向	中	野	小	2			
	菅	野	綾	乃	仙	北	小	3	片	岡	杏	子	城	北	小	3				
	中	村	桜	詩	杜	陵	小	3	阿	部	陽	愛	鶴	飼	小	3				
	田	口	栞	莉	大	新	小	3	藤	原	柑	菜	石	切	所	小	3			
	工	藤	遥	琉	久	盛	岡・土	淵	小	4	長	谷	部	瑛	大	城	北	小	4	
	堺	田	寿	音	盛	岡・土	淵	小	4	大	久	保	芽	生	向	中	野	小	4	
	高	宮	修	吾	岩	大	附	属	小	4	小	澤	叶	絵	滝	沢	中	央	小	4
	鈴	木	滉	悠	太	田	東	小	5	立	花	柚	希	大	新	小	5			
	長	谷	川	輝	明	花	巻	小	5	佐		藤		開	岩	大	附	属	小	5
	藤	沼	俐	里	岩	大	附	属	小	5	藤	原	穂	乃	美	石	切	所	小	5
	神		里	桜	厨	川	小	6	堀	越	り	ん	か	山	岸	小	6			
	上	山	ひ	ら	り	上	田	小	6	高		橋		楓	緑	が	丘	小	6	
	川	本	風	花	津	志	田	小	6	柏	谷	綾	香	月	が	丘	小	6		
奨 励 賞	佐		藤		漣	厨	川	小	1	片	方	綾	乃	桜	城	小	1			
	東		根		快	盛	岡・土	淵	小	1	北		村	岳	月	が	丘	小	1	
	藤	原	凜	音	鶴	飼	小	1	佐	々	木	な	な	か	鶴	飼	小	1		
	加	賀	谷	應	介	岩	大	附	属	小	1	伊	藤	鳳	八	桜	城	小	2	
	倉	本	葵	叶	盛	岡・中	野	小	2	加	藤	帆	華	桜	城	小	2			
	吉	田	楓	太	郎	盛	岡・中	野	小	2	阿	部	智	咲	向	中	野	小	2	
	久	保	田	美	想	桜	城	小	2	北		村	陸	月	が	丘	小	3		
	金	光	寺	葵	仙	北	小	3	海	道	麻	佑	向	中	野	小	3			
	柳	村	美	咲	山	岸	小	3	田	澤	孝	汰	郎	向	中	野	小	3		
	後	藤	光	咲	米	内	小	3	佐	藤	愛	理	滝	沢	中	央	小	4		
	吉	田	凜	叶	盛	岡・中	野	小	3	平	野	詩	織	吉	里	吉	里	小	4	
	平	林	凜	華	盛	岡・土	淵	小	4	小	笠	原	文	夏	晴	山	小	4		
	田	中	咲	真	盛	岡・中	野	小	4	北		村	花	月	が	丘	小	5		
	阿	部	景	人	大	新	小	4	上	関	洋	太	郎	向	中	野	小	5		
	和	田	千	蓉	仁	王	小	5	近	藤	華	奈	岩	大	附	属	小	5		
	小	友	弥	和	上	田	小	5	吉	田	聖	衣	菜	津	志	田	小	6		
	千	葉	朱	莉	巻	堀	小	5	赤	坂	ひ	か	り	岩	大	附	属	小	6	
	梅	田	美	鈴	岩	大	附	属	小	5	畠	山	仁	那	岩	大	附	属	小	6
齊	藤	創	士	厨	川	小	6													
伊	藤	渚	咲	盛	岡・中	野	小	6												
三	浦	桜	士	朗	津	志	田	小	6											

2 中学校

	美 術			
芸 術 祭 賞	山 根 彩 椰	土 淵 中	2	
	高 橋 桜 姫 羽	城 西 中	3	
優 秀 賞	宮 崎 聖 蘭	黒 石 野 中	1	
	谷 地 舘 律 太	下 橋 中	2	
	川 又 彩 葉	黒 石 野 中	3	
奨 励 賞	佐 藤 美 玖	下 橋 中	1	
	梅 津 果 歩	岩 大 附 属 中	2	
	成 田 圭 織	岩 大 附 属 中	3	

	書 写			
	毛筆条幅入賞		毛筆半紙入賞	
芸 術 祭 賞	檜 山 み の り	滝 沢 中 3	渡 辺 菜 月	岩 大 附 属 中 3
優 秀 賞	柳 谷 祐 希	滝 沢 南 中 2	花 坂 瑚 子	渋 民 中 1
	佐 ヲ 木 優 羽	仙 北 中 3	畠 山 桃 榎	黒 石 野 中 3
奨 励 賞	耕 野 玲 奈	滝 沢 南 中 2	藤 澤 萌 ヲ 香	下 小 路 中 2
			中 村 美 空	黒 石 野 中 2
			堂 前 詩 乃	岩 大 附 属 中 3

【ピアノ演奏会】

	氏 名	居 住 地
芸 術 祭 賞	佐 藤 由 梨	矢 巾 町
審査員特別賞	高 杉 真 優 香	宮 城 県

【県民文芸作品集】

種 目	賞 名	作 品 名	氏 名	居住地
小 説	芸 術 祭 賞	迷いの森	阿 部 芳 久	宮城県
	優 秀 賞	The White Book	浅 野 文 月	北上市
	奨 励 賞	無神体	東 野 正	盛岡市
	奨 励 賞	閉伊を貫く	去 石 雅 弥	矢巾町
戯曲・シナリオ	芸 術 祭 賞	該当作なし	—	
	優 秀 賞	幻砂鉄道	劇 団 地 底 人	二戸市
	奨 励 賞	テアトルファミリー	中 里 治 人	盛岡市
	奨 励 賞	あたかも殺人事件	相 馬 杜 宇	神奈川県
文 芸 評 論	芸 術 祭 賞	該当作なし	—	
	優 秀 賞	「とんこつ」という世界で描かれたもの —異界をキーワードとして—	宮 崎 玲 香	滝沢市
	優 秀 賞	宮澤賢治における「罪」の意識とそのゆくえ	和 久 井 洋 子	盛岡市
	奨 励 賞	ひからびてゆく抒情のなかで —岸上大作小論—	内 藤 賢 一	盛岡市
随 筆	芸 術 祭 賞	壁掛け時計	鎌 田 祐 二	宮古市
	優 秀 賞	見えないあの子	佐 藤 宇	宮古市
	奨 励 賞	猟犬サブ	八 重 樫 美 佳	盛岡市
	奨 励 賞	空想地図散歩	川 辺 学	北上市
児 童 文 学	芸 術 祭 賞	溶岩流の熊	佐 々 木 実	八幡平市
	優 秀 賞	とくぞうおじいさんの忘れ物	祐 峰 将 護	陸前高田市
	奨 励 賞	ぼくたちのロックンロール2	中 里 ハルト	盛岡市
	奨 励 賞	アカシアの花が咲いてる —少年ノブの満州からの引き揚げの記録—	藤 本 万 規	千葉県
詩	芸 術 祭 賞	稲の花	佐 藤 岳 俊	奥州市
	優 秀 賞	おじいさん	夏 谷 胡 桃	遠野市
	奨 励 賞	影を置いて出かける	柳清水和歌子	青森県
	奨 励 賞	春の讃歌	安 部 勝 衛	花巻市
短 歌	芸 術 祭 賞	窓べに	遠 藤 カオル	奥州市
	優 秀 賞	郷愁	安 部 勝 衛	花巻市
	奨 励 賞	神々の遊び場	赤 平 セツ子	北上市
	奨 励 賞	夏	佐 藤 愛 莉	山梨県
俳 句	芸 術 祭 賞	老いの自在	佐 藤 嘉 子	金ヶ崎町
	優 秀 賞	寝息	齋 藤 雅 博	盛岡市
	奨 励 賞	案山子	紺 野 きぬえ	釜石市
	奨 励 賞	朱鷺色	本 郷 明 子	神奈川県
川 柳	芸 術 祭 賞	雑詠	鳥 居 澄 子	宮古市
	優 秀 賞	雑詠	野 口 一 滴	洋野町
	奨 励 賞	雑詠	宇 部 功	盛岡市
	奨 励 賞	雑詠	あ べ 和 香	花巻市

【文芸祭】

部門	賞 名	作 品 名 等	氏 名	居 住 地
詩	文 芸 祭 賞	ひろいへやで	中 館 公 一	住 田 町
	優 秀 賞	泣かないでY・Kに	夏 谷 胡 桃	遠 野 市
	奨 励 賞	降下して来た	横 澤 和 司	気仙沼市
	奨 励 賞	雨音	上 野 あ づ さ	盛 岡 市
短歌	文 芸 祭 賞	身の狭くなりたる老われのしるす日記は余白の多し	折 居 路 子	盛 岡 市
	優 秀 賞	少しだけ傷んだ桃を剥きながら過去を美化してくれる母さん	日 詰 萌 恵	盛 岡 市
	奨 励 賞	病院の笹のかざりにその父の回復ねがふ幼き文字は	斉 藤 玲 子	滝 沢 市
	選 者 賞 (鷹背真智子選)	暑き朝バスを待ちつつ「蝸が聞こえんですな」と理科の教師は	菊 池 陽	北 上 市
	(藤井永子選)	千人針贈りし人の行く末を母は呟く今になりても	内 藤 賢 一	盛 岡 市
	(山本豊選)	病室の窓より見ゆる街の灯に介護施設の夫を思ふ	阿 部 て い 子	盛 岡 市
	(吉田史子選)	只管に指うごかして空中に何か書きゐる白寿近き母	菊 池 哲 也	奥 州 市
俳句	文 芸 祭 賞	存分に伸びして秋の蛇となる	兼 平 玲 子	盛 岡 市
	優 秀 賞	秋天を造り変へたる庭師かな	戸 館 大 路	盛 岡 市
	奨 励 賞	噛みちから児にありありと秋高し	岡 部 玄 治	盛 岡 市
	選 者 賞 (名久井清流選)	電動の鋸秋晴の空ゆする	高 橋 和 枝	花 巻 市
	(澤口航悠選)	薄切りの林檎を口に手術あと	吉 村 翌 檜 女	盛 岡 市
	(二階堂光江選)	星月夜しんと結球する野菜	兼 平 玲 子	盛 岡 市
	(五日市明子選)	栗飯を誰か来ぬかと炊いてをり	吉 田 由 紀 子	盛 岡 市
	(及川永心選)	花嫁は七十五歳小鳥来る	小 林 初 夏	盛 岡 市
川柳	文 芸 祭 賞	正解は一つではない水鏡	富 岡 敦 子	紫 波 町
	優 秀 賞	戦乱の子の顔消えぬ涙あと	内 藤 賢 一	盛 岡 市
	奨 励 賞	俵づみ唄が聞こえる稔る秋	多 田 幸 子	遠 野 市
	特 選 (神田義和選)	ササクレルハガレルやがて賦に落ちる	坂 井 冬 子	新 潟 県
	(富岡敦子選)	酔うまでが人で酔ったら水たまり	月 波 与 生	青 森 県
	(あべ和香選)	月満ちてわたしは母になってゆく	鈴 木 明 夫	秋 田 県
	(柳清水広作選)	香箱は空で 暦は真っ白で	福 士 か れ ん	青 森 県
	(河野康夫選)	跡継ぎの無い田に案山子朽ち果てる	横 尾 信 雄	佐 賀 県
	(佐藤岳俊選)	凍土消えマンモスの声よみがえる	菅 原 浩 洋	秋 田 県

13 第77回岩手芸術祭審査員・選者等一覧

【美術部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
日 本 画	土 井 宏 太 郎	日本画家
	花 立 ゆ か り	岩手県日本画協会会長
	片 山 道 子	岩手県日本画協会理事
洋 画	石 川 西 三	洋画部門理事
	大 矢 忠 信	洋画部門理事
	佐 藤 純	洋画部門理事
	高 橋 政 子	洋画部門理事
	成 田 玄 治	洋画部門理事
	乗 上 弘	洋画部門理事
	村 田 と も 子	洋画部門理事
版 画	安 ケ 平 愛 美	洋画部門理事
	阿 部 陽 子	版画家
彫 刻	田 村 晴 樹	画家
	長 内 努	彫刻部門理事
工 芸	藤 田 仁	日展特別会員
	阿 部 裕 之	岩手工芸美術協会会長
書 道	澤 藤 華 星	岩手書道協会副会長
	佐 々 木 飛 鴻	岩手書道協会副会長
	大 河 原 節 子	岩手書道協会理事
	小 笠 原 光 華	岩手書道協会理事
	佐 竹 松 濤	岩手書道協会理事
	丸 若 敬 葉	岩手書道協会理事
	熊 谷 碓 斗	岩手書道協会理事
写 真	安 珠	日本写真家協会/日本写真協会
デ ザ イ ン	本 村 健 太	岩手大学人文社会科学部教授
	竹 村 育 貴	岩手デザイナー協会会長
	荒 川 鉄 平	盛岡ロータリークラブ会長
現 代 美 術	小 沢 剛	東京藝術大学美術学部教授
水 墨 画	菊 池 一 政	岩手県水墨画協会会長
	阿 部 慶 造	岩手県水墨画協会副会長
	工 藤 晴 男	岩手県水墨画協会副会長
	清 水 恒 男	岩手県水墨画協会副会長
	千 葉 勝 歳	岩手県水墨画協会理事

【舞台等部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
ピ ア ノ	佐 々 木 素	ピアニスト
	平 間 百 合 子	常盤木学園音楽科講師・ピアニスト
	植 木 由 利 子	宮城学院女子大学学芸学部音楽科講師・ピアニスト

【文芸部門選者】

県民文芸作品集	
小 説	村 井 直 衛
	大 平 し お り
戯 曲・シナリオ	高 村 明 彦
	中 村 剛 造
文 芸 評 論	塩 谷 昌 弘
	牛 崎 敏 哉
随 筆	須 藤 宏 明
	野 中 康 行
児 童 文 学	千 葉 留 里 子
	藤 原 成 子
詩	兒 玉 智 江
	平 山 千 春
	永 田 豊
短 歌	稲 垣 貞 男
	小 笠 原 和 幸
	神 原 猛
	藤 井 永 子
	山 口 明 子
俳 句	名 久 井 清 流
	澤 口 航 悠
	二 階 堂 光 江
	五 日 市 明 子
	及 川 永 心
川 柳	中 野 裕 子
	坂 下 一 美
	澤 瀬 海 山

文 芸 祭	
詩	兒 玉 智 江
	平 山 千 春
	永 田 豊
短 歌	鷹 觜 真 智 子
	藤 井 永 子
	山 本 豊
	吉 田 史 子
俳 句	名 久 井 清 流
	澤 口 航 悠
	二 階 堂 光 江
	五 日 市 明 子
	及 川 永 心
川 柳	石 川 檀
	富 岡 敦 子
	あ べ 和 香
	柳 清 水 広 作
	河 野 康 夫
	佐 藤 岳 俊

【文芸部門文芸祭講師】

種 目	氏 名	備 考
小 説	大 平 し お り	県民文芸作品集選者
	村 井 直 衛	//
戯 曲・シナリオ	鈴 木 潤 子	劇団わらび座
文 芸 評 論	望 月 善 次	実行委員
	塩 谷 昌 弘	県民文芸作品集選者
	牛 崎 敏 哉	// /実行委員
随 筆	須 藤 宏 明	県民文芸作品集選者
	野 中 康 行	// /実行委員
児 童 文 学	千 葉 留 里 子	作品集選者 /実行委員
	杉 村 修	作家
	藍 沢 篠	作家・詩人

14 第77回岩手芸術祭実行委員会委員一覧

区 分		氏 名	摘 要
主 催 者		和 田 英 子	岩手県文化スポーツ部 文化振興課総括課長
		石 田 知 子	【実行委員会副会長】 岩手県文化振興事業団理事長
		柴 田 和 子	【実行委員会会長】 岩手県芸術文化協会会長
		藤 沢 清 美	岩手県芸術文化協会副会長
美術部門	書 道	野 田 杏 苑	【実行委員会監事】
	写 真	松 本 尚 子	
舞 台 等 部 門	演 劇		倉 持 裕 幸
	伝 統 芸 能	茶 道	齋 藤 妙 佳
		華 道	大 村 眞 鏡
	音 楽	合 唱	村 松 玲 子
		ピ ア ノ	千 葉 浩 子
		ギ タ ー	吉 田 多 加 司
		管 弦 楽	寺 崎 巖
	舞 踊	洋 舞	大 沼 ま ゆ み
		日 舞	若 柳 吉 聖
	演 芸	民 謡	山 上 衛
文 芸 部 門		戯 曲	高 村 明 彦
		俳 句	伊 藤 恵 美
小・中学校美術展		小 原 由 里 子	盛岡市立大新小学校副校長 (小・中美展事務局長)
地 域		中 島 健 次	花巻市芸術協会会長
		河 東 眞 澄	【実行委員会副会長】 釜石市芸術文化協会会長

【美術部門実行委員会】

日本画	花立ゆかり	工芸	阿部裕之	デザイン	竹村育貴	
	片山道子		竹田康夫		吉田康則	
洋画	種倉紀昭	書道	野田杏苑	現代美術	村上紘一	
	岩渕毅弘		兼平岱夔		浅倉伸	
版画	日山登啓	写真	菊池正忠	水墨画	菊池一政	
	鈴木和雄		松本尚子		北村義美	
彫刻	佐々木悦也					
	菅原睦					

【舞台等部門実行委員会】

演劇	倉持裕幸	合唱	村松玲子	ギター	吉田多加司
	鬼澤陽子		三上華子		佐藤勝政
能楽	佐藤宏明	声楽	昆野聡朗	管弦楽	寺崎巖
	菊池昭二		丸岡千奈美		古舘順一
邦楽	福士幸雄	弦楽	菊池昭子	洋舞	大沼まゆみ
	室岡提子		渡辺めぐみ		藤井淳子
茶道	齋藤妙佳	三曲	高橋法聖	日舞	若柳吉聖
	福勢妙紀		菊池捷山		水木楓
華道	中村素瑠	吹奏楽	安倍一洋	民謡	藤沢清美
	大村真鏡		佐々木一昭		山上衛
吟詠剣詩舞道	立身岳元	ピアノ	千葉浩子	新舞踊	高橋トシ
	金沢岳貞		成瀬ゆかり		鈴木孝四郎

【文芸部門実行委員会】

小 説	大 平 し お り	詩	菊 池 唯 子	俳 句	伊 藤 恵 美
	村 井 直 衛		兒 玉 智 江		四 戸 美 佐 子
戯 曲	高 村 明 彦		松 崎 み き 子		山 火 律 子
	中 村 剛 造	短 歌	山 本 豊	川 柳	熊 谷 岳 朗
文 芸 論 評	望 月 善 次		外 舘 克 裕		富 岡 敦 子
	牛 崎 敏 哉		赤 澤 篤 司		伊 藤 豊 志
随 筆	野 中 康 行				
児 童 文 学	千 葉 留 里 子				
	佐々木 喜久子				

【実行委員会事務局】

事務局長	安藤知行	岩手県文化振興事業団 事務局長
事務局次長	佐々木仁志	岩手県芸術文化協会 事務局長
	工藤啓一郎	岩手県文化振興事業団総務部 総務課長
事務局員	鈴木まり子	岩手県文化スポーツ部文化振興課
	千葉達也 (総括・美術担当)	岩手県文化振興事業団総務部総務課
	村上絵美 (文芸担当)	〃
	小野寺聡美 (舞台等担当)	〃
	竹内万紀子 (美術担当)	〃
	佐々木恵一	〃
	岩崎桂子	岩手県芸術文化協会

15 第77回岩手芸術祭市町村別応募作品数一覧

【美術部門】

	市町村	日本画	洋画	版画	彫刻	工芸	書道	写真	デザイン	現代美術	水墨画	計
盛岡	盛岡市	5	27	8	8	15	43	62	28	15	20	231
	八幡平市	1										1
	岩手町	1						3		1	1	6
	雫石町		5		1	2	1	1			4	14
	葛巻町		1					3				4
	滝沢市		2			3	9	8	4	3	9	38
	紫波町		4	3			10	3	1		1	22
	矢巾町	2	5	3	2		3	2	3	3	2	25
	小計	9	44	14	11	20	66	82	36	22	37	341
中部	花巻市		3			5	5	5	4	4	2	28
	遠野市		2			3	1	2				8
	北上市	2	10	3	3	5	5	4	1			33
	西和賀町											0
	小計	2	15	3	3	13	11	11	5	4	2	69
県南	奥州市	3	5		1	3	4	1	9		1	27
	金ヶ崎町								3			3
	一関市	1	7	1		1	4	1			8	23
	平泉町						1				1	2
	小計	4	12	1	1	4	9	2	12	0	10	55
沿岸南部	大船渡市							1		1	7	9
	陸前高田市											0
	住田町											0
	釜石市		11	2		1	1	6	5			26
	大槌町		1						2			3
	小計	0	12	2	0	1	1	7	7	1	7	38
宮古	宮古市		5	3		1	7	5		3	2	26
	山田町	5				1	3			1		10
	岩泉町											0
	田野畑村		1				1					2
	小計	5	6	3	0	2	11	5	0	4	2	38
県北	久慈市							7				7
	洋野町											0
	野田村		1									1
	普代村											0
	二戸市		3				2	2	1			8
	一戸町		2				2	2				6
	軽米町		1									1
	九戸村											0
	小計	0	7	0	0	0	4	11	1	0	0	23
県外		1	5	1			2		3	1	3	16
合計		21	101	24	15	40	104	118	64	32	61	580

【県民文芸作品集】

		小説	戯曲	文芸評論	随筆	児童文学	詩	短歌	俳句	川柳	計
盛岡	盛岡市	8	1	3	20	3	13	15	57	11	131
	八幡平市				1	1			2		4
	滝沢市	2		2	2		5	4	2		17
	岩手町	1								1	2
	雫石町										0
	葛巻町						1		1		2
	紫波町				1				3	7	11
	矢巾町	1			1	1			1		4
	小計	12	1	5	25	5	19	19	66	19	171
中部	花巻市	2			6	1	7	6	10	10	42
	遠野市	1					3	1	1		6
	北上市	1			4		1	3	5	1	15
	西和賀町								2		2
	小計	4	0	0	10	1	11	10	18	11	65
県南	奥州市				1		1	6	15	5	28
	金ヶ崎町							1	1		2
	一関市							1	6		7
	平泉町				1				2		3
	小計	0	0	0	2	0	1	8	24	5	40
沿岸南部	大船渡市						4				4
	陸前高田市				1	1		1	1	3	7
	住田町	1				1				2	4
	釜石市								3	1	4
	大槌町										0
	小計	1	0	0	1	2	4	1	4	6	19
宮古	宮古市				2			1	4	3	10
	山田町	1						1			2
	岩泉町							1			1
	田野畑村										0
	小計	1	0	0	2	0	0	3	4	3	13
県北	久慈市							1	1	3	5
	洋野町									3	3
	野田村										0
	普代村										0
	二戸市		1					1	1	1	4
	一戸町										0
	軽米町										0
	九戸村										0
	小計	0	1	0	0	0	0	2	2	7	12
県外	計	1	1		1	1	13	2	2	1	22
合計		19	3	5	41	9	48	45	120	52	342

宮城県 1 神奈川県 1

埼玉県 1 千葉県 1 東京都 3 青森県 1 青森県 1 青森県 1

千葉県 1 山梨県 1 神奈川県 1

宮城県 3

青森県 6

16 第77回岩手芸術祭実行委員会 収支予算書(最終予算)

1 収入の部

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
負担金	10,430	主催者、巡回展開催市町村
入場料収入	711	美術展入場料
諸収入	1	預金利息
事業開催準備経費	1,241	第76回会計より
合 計	12,383	

2 支出の部

(単位:千円)

科 目	予算額	主 な 内 容
実行委員会	1,230	功労者表彰、新聞広告、印刷物、表彰式(美術・文芸)
美術展	2,851	賞金、印刷物、会場使用料、部門負担金
巡回美術展	1,660	写真パネル作成、作品輸送
小中学校美術展	380	小・中学校美術展協会負担金
巡回小中学校美術展	40	〃
演劇	545	部門負担金
伝統芸能	830	〃
音楽	1,260	〃
舞踊	390	〃
演芸	400	〃
地方開催	317	〃
県民文芸作品集	1,122	選者謝金、賞金、作品集買上
文芸祭	474	部門負担金
次年度(第78回)開催準備経費	884	
合 計	12,383	

17 第77回岩手芸術祭芸術祭賞受賞作品
【美術展】



日本画「太古の響 Ⅲ」村上 和広(一関市)



洋画「Landscape」泉山 教道(矢巾町)



版画「門番」古原 汐理(宮古市)



水墨画「湯治場」門間 國雄(一関市)



工芸「孔雀」森島 久枝(盛岡市)



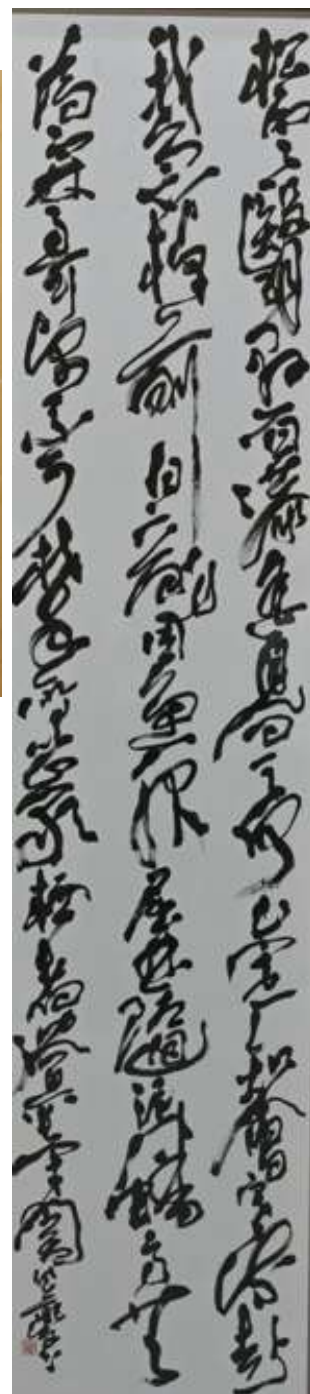
写真「忘れぬ友よ」遠藤 顕一（釜石市）



デザイン「生命散華」竹内 蒼（盛岡市）



彫刻「呼吸」工藤 祐奈（矢巾町）



書道「趙執信詩」

兼平 岱夔（盛岡市）



現代美術「From the Mosaic Side to You」めだまのわかこ（花巻市）

【小・中学校美術展】

《小学校絵画》



「じゅうなとんぼのせかい」

滝沢市立篠木小学校 二年 小姓堂 幸



「光の楽園をつくるちょうちんあんこう」

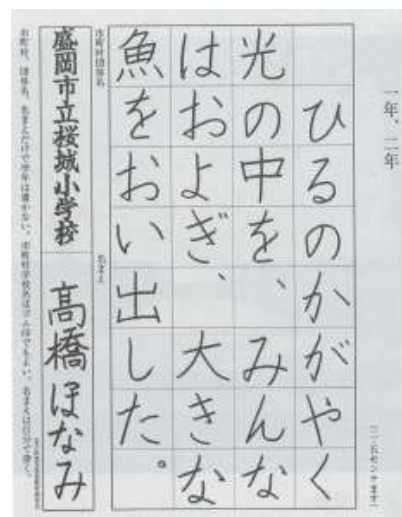
花巻市立八幡小学校 四年 須川 琴禾



「三陸の鳥」

宮古市立花輪小学校 六年 城内 心穂

《小学校書写》



盛岡市立桜城小学校

二年 高橋 ほなみ



盛岡市立北松園小学校

四年 安ヶ平 佳代



滝沢市立鶺鴒小学校

六年 柳谷 歩希

《中学校美術》



「早春」

盛岡市立土淵中学校二年 山根 彩椰



「小さな私の「おえかき」」

盛岡市立城西中学校三年 高橋 桜姫羽

《中学校書写》



滝沢市立滝沢中学校
三年 檜山 みのり



岩手大学教育学部附属中学校
三年 渡辺 菜月

18 印刷物デザイン

【総合ポスター】 デザイン／佐々木 海太郎(岩手デザイナー協会)



【美術展ポスター】 デザイン／白石 幸久(岩手デザイナー協会)



令和6年度(2024年度)
第77回岩手芸術祭記録集

資 料



第77回岩手芸術祭実行委員会

R7.3.31

応募資格

年齢18歳以上の岩手県在住者、又は岩手県に本籍がある者。

募集内容

演奏日時
会場

●令和6年 11月9日(土)▶開演13:30～
●トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)中ホール

演奏内容

歌曲・オペラのアリア等、ひとり8分以内

伴奏者

各自で準備すること。事務局でも斡旋可能。

申込締切

令和6年8月31日(土)

出演経費

12,000円(チケット負担金を含む)

応募方法

所定の申込用紙に記入の上、下記申込先に郵送すること。

その他

●著作権料のかかる曲目は演奏者の負担とします。

申込み・問合せ先

〒020-0133 盛岡市青山一丁目20-26 丸岡 千奈美 宛
●TEL / 019-647-1850 ●mail / cmaru@mapo.jp



2024第77回

躍動感動芸術の花
いわたの大地に咲き誇れ

公募要項

- 美術展—————P1～4
- 県民文芸作品集 第55集—————P5～6
- 文芸祭(開催要項)—————P7～8
- 音楽部門ピアノ演奏会—————P9～10
- 音楽部門演奏会—————P11

- 主催／岩手県・岩手県文化振興事業団・岩手県芸術文化協会・岩手日報社・IBC岩手放送
テレビ岩手・めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・エフエム岩手
- 後援／盛岡市・NHK盛岡放送局・胆江日日新聞社・岩手日日新聞社
- 運営／岩手芸術祭実行委員会
- 問い合わせ先／岩手芸術祭実行委員会事務局 Tel. 019-654-2235
- 第39回国民文化祭／「清流の国さよ」文化祭2024協賛事業
- 岩手県芸術文化協会創立50周年記念事業「芸術の 翼ひろげて 半世紀」



キリトリ

きりとり



出品作品

「現代美術」とは「ものを見ること(視覚認識)」や「社会をどう見つめるか」ということを常に問題にできている。平面、立体、映像、インスタレーション、音響を含むものなど、様式や技法にとらわれない表現を扱う。屋内と野外展示(ネクスト子どもと緑の広場の2会場)で募集する。なお、審査搬入当日は16時を展示作業終了時間とする。

作品の規格

屋内展示▶ 立体、インスタレーション=床面積15㎡以内×高さ4m以内、平面=10㎡以内

野外展示▶ [会場/ネクスト子どもと緑の広場]25㎡以内※野外展示については必ず8月23日(金)まで事務局に問い合わせの上、詳細を事前に確認すること。作品の規格が展示会場管理者の基準に外れる場合は展示を許可できない場合もある。

出品点数・出品料 1人2点まで、1点4,000円、2点5,000円(学生は1点3,000円、2点4,000円)

作品コンセプト 1点につき200字以内のコンセプトをA4用紙にまとめて搬入当日受付に提出すること(任意)。

審査員 ●小沢 剛(東京藝術大学美術学部 教授)

事務局 ●浅倉 伸/〒020-0862 盛岡市東山北2-2-29 ●TEL / 090-7337-7232(直通)

現代美術

作品の規格

(1) 作品寸法▶ F8(38×45.5)以上〜和紙全紙を目標

(2) 表装▶ 額装(アクリル使用のこと、ガラス不可)・軸装

出品点数・出品料 1人1点4,000円

出品申込 8月30日(金)までに事務局に申し込むこと。

審査員 ●菊池 一政(岩手県水墨画協会会長) ●阿部 慶造(同副会長)

●工藤 晴男(同副会長) ●清水 恒男(同副会長) ●千葉 勝歳(同理事)

事務局 ●北村 義美/〒020-0106 盛岡市東松園2-12-4 ●TEL / 019-661-8923

水墨画

応募資格

岩手県内在住者、本籍が岩手県にある者、岩手県出身者または岩手県内学校の卒業生及び在学生など過去に岩手県と関わりがある者。(※洋画・彫刻・写真・デザイン部門は中学生以下を除く、書道部門は高校生以下を除く。)

公募作品

公募作品は、未発表作品とする。種目、規格等はP1〜3各部門記載を参照のこと。

出品申込・受付

作品の出品時には、出品料及び必要事項を記載した次の所定用紙を提出すること。ただし、輸送搬入の場合の出品料、出品目録、出品受付証は9月3日(火)までに各部門事務局あて送ること。

(1) 出品目録(全部門共通様式 / 出品部門ごとに必要)
(2) 出品票(洋画、書道部門以外共通様式 / 出品作品ごとに必要)

※作品の裏側に貼付

(3) 出品受付証(全部門共通様式 / 出品部門ごとに必要)

※作品搬出の際に、引換証となる場合があるため、搬出日(右記)まで保管すること。

作品の搬入

(1) 直接搬入

部 門	搬入場所	搬入日時
日 本 画 写 真 版 画 デザイン／水墨画 洋画・工芸・現代美術 彫 刻	トウライ クラシックホール (岩手県民会館)	9月7日(土) 10時～16時 (※書道部門は 10時～12時)
	4階第1会議室	
	4階第4会議室	
	2階旧レストラン	
	第1展示室	
	第2展示室	
	地下収蔵庫	

(2) 輸送搬入 ※書道、現代美術作品の輸送搬入は認めない。

部門	あて先	搬入日時
日本画 / 写真	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 トーサイクラジックホール岩手(岩手県民会館) 4階会議室内 芸術祭美術展〇〇部門受付	9月7日(土)に限る。 ※輸送業者には配達日を 指定すること。 梱包表面に 「美術展〇〇部門出品物」と 大きく朱書きのこと。
	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 トーサイクラジックホール岩手(岩手県民会館) 2階旧レストラン 芸術祭美術展版画部門受付	
洋画 / 彫刻 / 工芸 デザイン / 水墨画	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 トーサイクラジックホール岩手(岩手県民会館) 展示室内 芸術祭美術展〇〇部門受付	

出品者は、以下について承諾のうえ出品すること。

- ① 出品作品の不慮の災害及び不慮の事故による損害については、主催者はその責を負わない。② 搬入・搬出及び荷造りの費用は、出品者の負担とする。③ 出品作品は、岩手芸術祭の記録集、主催団体等が運営するインターネットのホームページ、報道及び広報紙などに掲載される場合がある。④ 報道機関の岩手芸術祭にかかる取材等に対し、出品者の氏名、居住市町村名の情報提供をすることがある。⑤ 出品目録及び出品票に記入された個人情報、上記のほか、審査結果の通知、展示目録等印刷物の作成、表彰式の開催案内など、美術展の運営業務の範囲内に限り利用するものであり、それ以外の目的には一切使用しない。⑥ 美術展の実施は、内容の変更や中止となる可能性がある。

「現代美術」とは「ものを見ること(視覚認識)」や「社会をどう見つめるか」ということを常に問題にできている。平面、立体、映像、インスタレーション、音響を含むものなど、様式や技法にとらわれない表現を扱う。屋内と野外展示(ネクスト子どもと緑の広場の2会場)で募集する。なお、審査搬入当日は16時を展示作業終了時間とする。

屋内展示▶ 立体、インスタレーション=床面積15㎡以内×高さ4m以内、平面=10㎡以内

野外展示▶ [会場/ネクスト子どもと緑の広場]25㎡以内※野外展示については必ず8月23日(金)まで事務局に問い合わせの上、詳細を事前に確認すること。作品の規格が展示会場管理者の基準に外れる場合は展示を許可できない場合もある。

出品点数・出品料 1人2点まで、1点4,000円、2点5,000円(学生は1点3,000円、2点4,000円)

作品コンセプト 1点につき200字以内のコンセプトをA4用紙にまとめて搬入当日受付に提出すること(任意)。

審査員 ●小沢 剛(東京藝術大学美術学部 教授)

事務局 ●浅倉 伸/〒020-0862 盛岡市東山北2-2-29 ●TEL / 090-7337-7232(直通)

洋画部門出品票

※ 作品番号	大きさ	※ 作品番号	大きさ
作品題名		作品題名	
氏名	TEL	氏名	TEL
搬出方法	本人・委託(業者名)	搬出方法	本人・委託(業者名)

● 作品の裏側右上部に切り離さないでAのみのり付けする ● 作品番号は記入しないこと ● A・B票とも記入すること

洋画部門出品票

※ 作品番号	大きさ	※ 作品番号	大きさ
作品題名		作品題名	
氏名	TEL	氏名	TEL
搬出方法	本人・委託(業者名)	搬出方法	本人・委託(業者名)

● 作品の裏側右上部に切り離さないでAのみのり付けする ● 作品番号は記入しないこと ● A・B票とも記入すること

書道部門出品票

方搬出方法	住所	氏名	※ 作品番号	題名
本人・委託(業者名)	TEL	号	題文 別紙へガキ大(タテ)を用意して全文を書く	
※ 作品番号	TEL	※ 作品番号	TEL	TEL
※ 作品番号	TEL	※ 作品番号	TEL	TEL

● 作品の裏側右上部に貼付 ● 作品番号は記入しないこと

第77回 岩手芸術祭美術展

部門／出品目録

氏名 (号ほか) 男・女 年齢 歳 職業

住所

TEL (自宅)

TEL (携帯)

作品番号 (事務局記入)	題名	種別	大きさ
※			
※			

● 搬出方法 ▼ 本人 ▼ 委託[業者名]

● 県外の応募者は、岩手県との関わりをご記入ください。(例: 出身地名、在籍した学校名など) 岩手県との関わり:

美術展会期中は「デザイン部門」を除き、

出品作品の写真撮影を個人使用に限り認めています。

※右の□いすれかにチェックをお願いします。

はい

いいえ

美術展出品受付証

出品料

金

円也

受付受領

作品番号(事務局記入)

点受付

様 令和6年9月 日

部門

第77回岩手芸術祭美術部門実行委員会

応募資格

岩手県在住者（経験者も含む）、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方。
県外の応募者にあつては岩手県との関わりを記入すること。（かつて居住した岩手県の市町村名など）

公募内容

小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳の9種目のうち、日本語で書かれた未発表の創作作品。
（ただし、戯曲・シナリオについては上演済みの作品も可）

応募原稿				
種目	応募できる作品数	原稿枚数	題名記載場所	応募者情報記載場所
小説	1篇	原稿用紙30枚以内 （文字数換算可）	1行目	その他
		原稿用紙50枚程度 （文字数換算可）	1行目	●内容は下記のいずれかとし、応募者情報に記載すること。 （1）演劇一幕もの （2）ラジオドラマ （3）テレビドラマ
戯曲・シナリオ	1篇	原稿用紙30枚以内 （文字数換算可）	1行目	末尾又は別紙
文芸評論	1篇	原稿用紙30枚以内 （文字数換算可）	1行目	●研究的内容のものも可とする。
随筆	1篇	原稿用紙4枚	1行目	●規定する枚数を超えないこと。
児童文学	1篇（少女少女詩、童謡の場合は3篇以内）	原稿用紙30枚以内 （文字数換算可）	1行目	●フィクション、ノンフィクションを問わない。
詩	3篇以内	1篇につき原稿用紙3枚以内	1行目	●行あけを明確にすること。 ●篇ごとの通し番号を付すこと。 （篇・頁：1-1、1-2、1-3、2-1、・・・）
短歌	10首	原稿用紙1枚	欄外	裏面
俳句	雑詠5句1組	はかき1枚 （メール可）	1行目	
	雑詠7句			
川柳				

- (1)原稿用紙の規格は、サイズをA4またはB4とし、20行×20行の400字詰めとする。
(2)応募原稿は縦書きとし、複数枚の場合はページ番号を付し、右上綴じとする。
(3)応募者情報は、次の①から⑦を記載し、提出の際は、種目別に指定する方法で、応募原稿に添えて提出すること。
①筆名・雅号（ある場合のみ） ②氏名 ③住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥Eメール^{ふりがな}アドレス（ある場合のみ） ⑦岩手県との関わり（県外在住者のみ）

※32マスの点字器を使用し、点字用紙片面打ち1枚あたり16行を標準とする。
（他の点字器を使用する場合はこれに準ずること。）各種目の枚数は次の表のとおり。

小説	戯曲・シナリオ	文芸評論	随筆	児童文学
40枚以内	66枚程度	40枚以内	6枚	40枚以内

- (1)会話の部分は行を改め、「」を使用すること。
(2)段落は3マス目から書きはじめ、点字用紙にページを打つこと。
(3)繰返符号は用いないこと。
(4)句点を入れること。
(5)墨字訳にあたり使用を希望する漢字がある場合は、別紙に簡条書きにすること。

点字で応募する場合

発表日

令和6年10月4日(金)

表彰式

別途受賞者へ案内

応募原稿				
種目	応募できる作品数	原稿枚数	題名記載場所	応募者情報記載場所
小説	1篇	原稿用紙30枚以内 （文字数換算可）	1行目	●村井 直衛
		原稿用紙50枚程度 （文字数換算可）	1行目	●高村 明彦
戯曲・シナリオ	1篇	原稿用紙30枚以内 （文字数換算可）	1行目	●塩谷 昌弘
		原稿用紙50枚程度 （文字数換算可）	1行目	●野中 康行
文芸評論	1篇	原稿用紙30枚以内 （文字数換算可）	1行目	●藤原 成子
随筆	1篇	原稿用紙4枚	1行目	●永田 豊
児童文学	1篇（少女少女詩、童謡の場合は3篇以内）	原稿用紙30枚以内 （文字数換算可）	1行目	●小笠原 和幸
短歌	10首	原稿用紙1枚	欄外	●澤口 航悠
俳句	雑詠5句1組	はかき1枚 （メール可）	1行目	●二階堂 光江
川柳	雑詠7句			●及川 永心
川柳				●澤瀬 海山

応募上の注意

- (1)応募作品が過去に発表されていたことが確認された場合は、入賞・入選を取り消すことがある。
(2)手書き原稿の場合は万年筆やボールペン等を用いて、かい書で書いた原稿を提出すること。（鉛筆書きは不可とする。）
(3)データ原稿の場合は、データ形式はMS word (.doc/.docx)、テキスト(.txt)、PDF(.pdf)のみとする。
(4)種目毎の応募できる作品数を超えて応募した場合、審査対象外とする。
(5)複数の種目に応募することができ、メールで応募する場合はは、必ず1種目ずつ別送し、郵送で応募する場合は区分して封入すること。

- (6)提出後の作品の訂正は受け付けないこと。
(7)応募作品は返却しないので、必要とする場合はコピーをとっておくこと。
(8)特定の個人・団体を誹謗・中傷する作品、公序良俗に反する内容の作品、本公募要項に違反している作品、その他選者が相応しくないと判断した作品は選考対象外とする場合があること。
(9)受賞作品を作品集に掲載する際の体裁の指定はできないこと。

応募締切

令和6年8月23日(金) 消印有効

作品集の刊行

／ 令和6年12月13日(金) 刊行予定(県内書店で販売)

お問い合わせ先

岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
〒020-0023 盛岡市内丸13番1号
● 電話／ 019-654-2235 ● FAX／ 019-625-3595
● mail／ i-geijutsu@iwate-bunshin.jp

賞の概要

—— 入賞者は岩手県文化振興事業団のHP上で発表し、表彰式において正賞及び副賞を授与する。

芸術祭賞	各種目 1 作品	● 正賞 ▶ 作品集掲載及び賞状 ● 副賞 ▶ 3万円
優秀賞	各種目 1 作品	● 正賞 ▶ 作品集掲載及び賞状 ● 副賞 ▶ 2万円
奨励賞	各種目2作品	● 正賞 ▶ 作品集掲載及び賞状 ● 副賞 ▶ 1万円
佳作・入選・選者賞 等	詩/短歌/俳句/川柳のみ、任意の点数	● 正賞 ▶ 作品集掲載

発表式

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)中ホール

(予定)

応募方法【電子メール】【郵送】のいずれか

電子メール

岩手県文化振興事業団HP ▶ 「岩手芸術祭に関するお問合せ」 「メールでの連絡」フォームより応募（岩手芸術祭実行委員会事務局）

〒020-0023 盛岡市内丸13番1号 岩手県民会館内 岩手芸術祭実行委員会【県民文芸作品集】係

封筒、ハガキの表に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と朱書きすること。

個人情報取り扱い扱い

応募者の個人情報、審査結果の公表を含む作品集刊行業務の範囲内に限り利用する。ただし、入賞、入選者については、報道機関等に氏名及び居住市町村名の情報提供を行う場合がある。

提出前にもう一度確認【よくある不備リスト】

- 書式の不備
- ▶ 縦書きですか？
▶ 題名の記載場所は指定どおりですか？
▶ ページ番号は付与しましたか？
- 枚数・文字数の超過
- ▶ 指定された枚数又は文字数ですか？
▶ 指定の首数、句数ですか？
- 応募者情報の不足
- ▶ 筆名・雅号の方は本名を記載しましたか？
▶ 県外在住の方は、岩手県との関わりについて記載していますか？

応募及び
大会参加資格

岩手県在住者、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方。

小説

日	令和6年11月4日(月・祝)午後1時30分～ ※10月16日までに申し込むこと。
会場	トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第1会議室(盛岡市内丸13-1)
内容	県民文芸作品集応募作品の講評 講師●大平 しおり ●村井 直衛
事務局	岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内) 〒020-0023 盛岡市内丸13-1 ●TEL / 019-654-2235 ●FAX / 019-625-3595

戯曲

日	未定
会場	盛岡劇場タウンホール(盛岡市松尾町3-1)
参加費	未定
内容	戯曲に関する講座、またはワークショップ。
事務局	●高村 明彦 〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-18 ●TEL / 090-1498-3591
運営委員	●高村 明彦 ●中村 剛造

文芸評論

日	令和6年10月14日(月・祝)午後1時～午後5時(午後0時30分～受付)
会場	トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第3会議室(盛岡市内丸13-1)
内容	小講演と研究発表 小講演 望月善次編著『宮澤賢治の妹トシの100年の贈物～甦った「自省録(宮澤トシ)」の新しい魅力」 (桜出版2024発行予定)をめぐって 講師●望月 善次 文芸評論のにおける方法意識 講師●塩谷 昌弘 「君たちはどう生きるか」と宮沢賢治 講師●牛崎 敏哉 研究発表：1～3人 ★発表資格：次の1.又は2.のいずれかを満たす方 1.『県民文芸作品集(評論の部)』応募者 2.9月9日(月)までに事務局宛発表趣旨(A4判、1枚程度)と共に申し出た方。 なお、希望者多数の場合は運営委員によって選考する。 無 料
参加費	無 料
事務局	●牛崎 敏哉 〒025-0001 花巻市天下田150-14 ●TEL / 090-2932-2628
運営委員	●牛崎 敏哉 ●望月 善次

随筆

日	令和6年11月2日(土)午後1時30分～3時30分頃 ※10月16日までに申し込むこと。
会場	トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第1会議室(盛岡市内丸13-1)
内容	県民文芸作品集応募作品の講評 講師●須藤 宏明 ●野中 康行
事務局	岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内) 〒020-0023 盛岡市内丸13-1 ●TEL / 019-654-2235 ●FAX / 019-625-3595

児童文学

日	令和6年10月27日(日)午前10時30分～午後3時30分
会場	やはばーく(矢巾町活動交流センター)大研修室(矢巾町駅東1-12-1)
内容	①県民文芸作品集応募作品の選評と合評 講師●千葉 留里子 ②講演会と意見交換「物語を書くということ」 講師●杉村 修(作家) ●藍沢 篠(作家・詩人)
参加申込	メール又はハガキで事務局まで。講演会(午後1時30分～)については当日参加可。
事務局	●千葉 留里子
運営委員	〒020-0114 盛岡市高松2-25-30 ●TEL / 019-661-6672 ●mail / ruri60-60@outlook.jp ●千葉 留里子 ●佐々木 喜久子

種目毎の大会の内容

—— 大会の内容に関するお問い合わせは各大会事務局までお願いいたします。

詩

日	令和6年10月19日(土)午前10時～
会場	北上市生涯学習センター(北上市大通1-3-1)
会費	1,000円(当日受付、資料代ほか)
応募作品	未発表作品3編以内、A4判原稿用紙使用、1編につき3枚以内で右綴じのこと。ワープロ原稿はA4判に印字のこと。尚、原稿1編につきコピー原稿を3部添付すること。選者の講評をご希望の方は切手を貼った返信用定形封筒に本人宛先を記入の上、同封のこと。
選者	●兒玉 智江 ●平山 千春 ●永田 豊
表彰	文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか。
公募期間	令和6年7月1日(月)より9月5日(木)※必着のこと
事務局 (応募先)	岩手県詩人クラブ文芸祭「詩の大会」事務局 〒029-2205 陸前高田市高田町字山苗代58-8 ●松崎みき子 ●TEL / 0192-55-2628
運営委員	●菊池 唯子 ●松崎 みき子 ●兒玉 智江

短歌

日	令和6年10月12日(土)午後0時～午後3時頃
会場	盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)
会費	出詠料1,000円(学生は無料)、当日会費500円(後日、互選のための詠草集に同封の払込取扱票にて払い込むこと。)
詠草	1首(未発表作品) はがきを使用。住所・氏名・電話番号・年齢を明記。学生は学校名も明記。
選者	●鷹背 真智子 ●藤井 永子 ●山本 豊 ●吉田 史子
表彰	優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈る。
応募締切	令和6年8月30日(金)必着
事務局 (応募先)	●赤澤 篤司 〒020-0016 盛岡市名須川町11-8 ●TEL・FAX / 019-625-5874
運営委員	●赤澤 篤司 ●外館 克裕 ●山本 豊

俳句

日	令和6年10月19日(土)午前10時から午後3時
会場	盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)
参加費	1,500円(資料代等)
作品	当季雑詠3句(投句締切 午前11時)
内容	句会、互選、選者選、披講、講評、表彰
選者	●名久井 清流 ●澤口 航悠 ●二階堂 光江 ●五日市 明子 ●及川 永心
表彰	優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈るほか、各選者賞を贈る。
事務局	●伊藤 恵美 〒020-0133 盛岡市青山3-10-1 ●TEL / 090-7939-0797
運営委員	●伊藤 恵美 ●山火 律子 ●四戸 美佐子 ●中村 紀子 ●太田 加留子 ●高橋 千衣子

川柳

日	令和6年10月6日(日)午前9時～午後3時頃 ※第42回東北川柳連盟盛岡大会と合同開催
会場	湯守ホテル大観(つなぎ温泉)(盛岡市繁字湯の館37-1)
会費	3,000円(当日大会参加費) ※前夜祭参加・宿泊希望の場合は別途会費が必要
席題と選者(2句詠)	「 」 ●当日参加者による3名共選
恒題と選者(各題2句詠)	「 悟 」 ●石川 檀 他1名共選 「 酔 」 ●畠岡 敦子 他1名共選
	「 月 」 ●あべ 和香 他1名共選 「 香 」 ●柳清水 広作 他1名共選
	「 子 」 ●河野 康夫 他1名共選 「 朗 」 ●佐藤 岳俊 他1名共選
賞	文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、台点賞(1～15位)、特選賞ほか
欠席投句	拝辞
参加申込	事前申込不要。ただし前夜祭参加・宿泊希望は、9月13日(金)までに事務局へ申込が必要。
事務局	●伊藤 豊志 〒027-0028 宮古市神林5-25 ●TEL / 0193-62-1137
運営	●岩手県川柳連盟 ●東北川柳連盟



各小・中・義務教育学校長 様

令和6年7月1日

岩手県知事 達増 拓也
岩手県教育委員会教育長 佐藤 一男
第77回岩手芸術祭実行委員会会長 柴田 和子
岩手県小・中学校美術展協会会長 加藤 均

第77回岩手芸術祭 小・中学校書写・美術作品募集について(お願い)

岩手芸術祭の一環として、本年度も小・中学校美術展(書写・美術作品)を開催し、書写・美術教育の振興に資するため、下記要項により作品を広く県内小・中学校より募集することになりました。つきましては募集要項をご覧ください。多数ご出品くださいますようご案内申し上げます。(小学校には義務教育学校前期課程、中学校には後期課程を含みます。)

第77回岩手芸術祭 小・中学校美術展作品募集要項

第77回岩手芸術祭の一環として、県内小・中学校児童、生徒の書写・美術を展示し、広く県民に児童、生徒の作品について鑑賞の機会を提供するとともに、本県小・中学校の書写・美術教育の振興をはかる。

- 応募資格** 岩手県内の小・中学校に在籍している児童、生徒の作品で個人制作、**各部門1人1点とする。**
 - 令和6年度に制作した作品で、各部門の定める規定に合致するものとする。
- 応募作品**
 - 出品料は無料とする。
 - 書写の応募作品は返却しない。美術作品について返却を希望する学校は、出品目録に記入すること。
- 出品方法** 作品は学校を経由して所定の**出品票(書写は不要)**、**出品目録及び出品者名簿を必ず添付して出品すること。**
各様式は、岩手県文化振興事業団ホームページ(<http://www.iwate-bunshin.jp/>)からダウンロードのこと。
- 受付期間** 令和6年9月18日(水)から10月3日(木)まで。(10月3日(木)必着のこと。)
- 5 送り先**

小学校絵画作品送付先	中学校美術作品送付先	小学校書写作品送付先	中学校書写作品送付先
〒020-0111 盛岡市黒石野1-6-1 盛岡市立緑が丘小学校内 名飯 亮子 宛 TEL ▶ 019-663-1515	〒020-0144 盛岡市土淵字幅2-3 盛岡市立土淵中学校内 工藤 美恵子 宛 TEL ▶ 019-647-8590	〒020-0022 盛岡市大通3-8-1 盛岡市立桜城小学校内 八木橋 智子 宛 TEL ▶ 019-653-5758	〒020-0044 盛岡市城西町4-1 盛岡市立城西中学校内 對馬 亜希子 宛 TEL ▶ 019-623-9274

★小・中学校美術展にかかわるお問い合わせは、大新小学校 副校長 小原へお願いします。TEL 019-647-7531
- 審査** 岩手県小・中学校美術展協会会長が委嘱した審査員により審査する。
- 入賞入選発表** 入賞・入選者は審査終了後、出品学校長宛通知するほか、入賞者については岩手日報を通じて発表する。
- 褒賞** すぐれた作品に対し、各部門ごとに芸術祭賞、優秀賞、奨励賞、その他の賞を贈る。
- 展示** 展示は入賞・入選作品のみとし、展示方法は岩手県小・中学校美術展協会へ一任する。
- 展示期間** 令和6年11月29日(金)から12月1日(日)までの3日間とする。
(11月29日・30日は9時から17時まで、12月1日は9時から16時まで)
- 展示会場** トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)展示室(盛岡市内丸13-1 TEL ▶ 019-624-1171)
- 巡回展** 第77回岩手芸術祭巡回小・中学校美術展開催要項にもとづき、県内各地で巡回展示する。(作品は学年別、書写、絵画作品300点程度)巡回コースおよび日程については後日決定する。(巡回展の事務局は県文化スポーツ部文化振興課)



小・中学美術作品応募について

募集する作品

- 種目** 絵画、版画、デザイン(平面)とする。いずれか一人一点とする。
- 主題** 自由
- 画材** クレヨン、パス、水彩などいずれでもよい。
- 用紙** 原則として4つ切(36cm×54cm)とする。台紙に貼り付けないこと。但し、版画の用紙が4つ切より小さい場合には、作品を台紙に貼りつけ4つ切サイズにそろえること。

出品方法

- 出品票・出品目録・出品者名簿**を指定の様式に従い出品校で作成し、必ず添付すること。
- 出品票は**作品裏面右下**に天地を正しくして糊付けすること。
- 作品は丸めたり折ったりしないで応募すること。
- 県内小・中学校を通しての出品となるので、**児童・生徒及び保護者から応募の申し出があった場合は、各学校にて対応すること。**
- 例年三千点を超える応募があり、スムーズな受付事務のためにも**必ず令和6年度版の出品票・出品目録・出品者名簿を使用し正確に記入、締切厳守のこと。**

出品票

←-----13cm-----→

題	名	
学校・学年		
氏	名	

6cm

美術出品目録

都 市	町 村	学校 担当者名	TEL FAX		
作品返却について (いずれかに○印を)	返却を希望しません。				
	返却を希望します。(宅配便による着払い) 審査会後(選外作品)、巡回展終了後の2回に分けて 3月予定				
	返却を希望します。(宅配便による着払い) まよめて1回で 3月予定				
	返却を希望します。(3回とも送付先学校に出向いて受け取り)				
年	種	絵 画	版 画	デザイン(平面)	計
1		点	点	点	点
2		点	点	点	点
6		点	点	点	点
計		点	点	点	総計 点

作品返却についてお願い

- 盛岡管内の学校は、できるだけ速やかに、送付先学校へ向うの受取に協力願います。
令和6年度の審査会は10月15日(火)開催予定 です。
選外作品については、10月22日(火)の盛岡市教研図工美術部会での引取りにご協力願います。
- 個票は剥がれないように、確実に糊付けしてください。(毎年、行方不明作品が出るため)

[出品者名簿 兼 審査結果送付票]美術・書写共通 ※部門毎・学年単位で作成のこと

立		学校		TEL	
住所:				FAX	
部門【 美術 ・ 書写(硬筆) ・ 書写(半紙) ・ 書写(条幅) 】○で囲む 年 No.					
No.	氏 名 (漢字)	題名(美術部門のみ)	種	審査結果(審査会で○を付けます)	返
1				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選	
2				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選	
3				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選	
30				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選	
学年計 () 点				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(選)・入選 () () () () () 作品と同時に送付する入選賞状 () 枚	

岩手芸術祭小・中学校美術展応募校 学校長様 担当者様
今回のご応募、誠にありがとうございました。過日の審査会において入賞・入選作品が決定いたしましたのでお知らせいたします。上記審査結果欄に○印がない場合は選外です。作品が返却になりましたら、返却作品と名簿を照合いただき、記入ミスや枚数違いがないか確認し、異状ありましたら事務局に連絡願います。
令和6 年 10 月 岩手県小・中学校美術展協会会長

小・中学書写作品応募について

募集する作品

- 種目** 小学校1・2年は硬筆、3年以上は毛筆半紙(国産半紙判)とする。中学校は毛筆半紙か条幅のいずれか一人一点とする。
- 用紙** 硬筆用紙は、岩手県書写書道研究会の書写コンクール硬筆用紙(B5判4ます×8ます:1ます2.5cm)とする。
毛筆半紙は国産半紙判、条幅は縦書きとする。
- 課題** 右の通り
- 小学校の書体はかい書、中学校の書体はかい書または行書とする。
- 毛筆作品の氏名は墨書すること。(表装しない)
硬筆・毛筆とも、氏名をひらがなで書いた場合は欄外に漢字氏名を鉛筆で書くこと。学年は書かなくてもよい。
- 作品の左上部に校名(〇〇立〇〇学校)を記すこと。(ゴム印可)
- 作品の**表側左下**に出品者名簿の番号を鉛筆で書くこと。
- 規格に合わない作品は審査しない。

出品方法

- 出品目録**(下記の通り)、**出品者名簿**(昨年同様に迅速な受付・結果処理のため、書写作品についても出品者名簿を添付すること。様式は美術作品のものと同じ)を指定の様式に従い出品校で作成し、必ず添付すること。

書写出品目録

郡		町		学校		TEL
市		村		担当者名		FAX
年	種	硬 筆	半 紙	条 幅	計	
1		点	点	点	点	
2		点	点	点	点	
6		点	点	点	点	
計		点	点	点	総計 点	

- 県内小・中学校を通しての出品となるので、**児童・生徒及び保護者から応募の申し出があった場合は、各学校にて対応すること。**
- 例年三千点を超える応募があり、スムーズな受付事務のためにも**必ず令和6年度版の出品目録・出品者名簿を使用し正確に記入、締切厳守のこと。**

小1年硬筆課題

市町村団体名	さ	か	が	
	い	っ	、	タ
	て	て	お	ン
	い	、	日	ポ
	ま	げ	さ	ポ
	し	ん	ま	の
	た	き	に	は
	°	に	む	な

一年硬筆

小2年硬筆課題

市町村団体名	魚	は	光	
	を	お	の	ひ
	お	よ	中	る
	い	ぎ	を	の
	出	、	、	か
	し	大	み	が
	た	き	ん	や
	°	な	な	く

二年硬筆

小3～中3年毛筆課題

	半紙課題		半紙課題	条幅課題
小3	人	中1	清 流	夢の実現
小4	大 地	中2	若 緑	感謝する心
小5	白 馬	中3	不屈の精神	不断の努力
小6	友 情			